

4期目 藤原町長に聞く



里見選挙管理委員長から当選証書を受け取る藤原町長

力強く
いきいきと輝く厚真町へ

6月22日に告示された町長選挙で、無投票で当選した藤原町長。

28日には里見厚真町選挙管理委員長から当選証書が付与されました。

4期目にあたって、今後についての抱負や決意などを話していただきました。

4期目の当選にあたり町民のみならず、人へひとことお願いします

町民の皆さんの温かいお気持ちで、無投票で当選させていただき、心から感激しています。

しかし、藤原町政に対して、不満や批判をもっている町民がいらつしやると思いますので、今まで以上に公正公平を基本に、町民の皆さんの参加による開かれた町政に努めなければならないと思っております。

**3期12年間を振り返って
感想をお聞かせください**

3期12年を振り返って、町政の実績・行政の効果について自ら検証してみると、平成4年7月に就任させていただいた直後に未曾有の大水害、翌5年には、史上最大の凶作に遭遇しましたが、議会をはじめ町民の皆さんの力強いご支援とご協力により、この難関を乗り越えることができました。私にとって大きな試練でした。

就任当時は、厚幌ダムの建設、国営の農

4 期目 藤原町長に聞く

業生産基盤整備など取り組むべき課題、解決すべき課題が数多くありました。平成7年に厚幌ダムが建設着工になり、国営の農業生産基盤整備は、実施設計が認められ、現在では槌（つち）音高く工事が進められています。このことを思う時、感慨無量のものがあります。

平成8年に厚真町が誕生して百年という記念すべき意義ある年を迎えました。百年を機に平成17年までの10力年の新総合計画を樹立し、「交流を誘う緑とゆとりにあふれた大いなる田園の町」を基本テーマに、5つの基本目標を定め、これに基づき町政を執行してきました。

- ・厚幌ダムの建設と厚真川の改修による水害のない町づくり。
- ・国営、道営による農業生産基盤整備やカントリーエレベーターの建設などによる農業振興。

- ・各学校の改修や給食センターの建設による教育環境の整備。

- ・子育て支援センター、デイサービスセンター、グループホーム、総合ケアセンターなどの建設による、少子高齢化に対応する福祉の充実強化。

- ・下水道をはじめとする生活環境の整備。
- ・土地区画整理事業による市街地の再開発と住宅分譲。

これに加えて、北海道電力4号機の完成、新日本海フェリーの就航、高規格日高自動車道厚真インターの供用開始など町づくりを順調に進めることができました。このことは、議会をはじめ関係団体、町民の皆さんのご理解とご支援があったからこそだと思っております。

町政の評価は、町民の皆さんがなさるものであります。私なりに町の発展の道筋が開かれたと思っております。

4 期目の

町制テーマは何ですか

3期12年の間で町の道筋が開かれたと思っていると先ほども言いましたが、それを確かなものにしたことが一点。

もうひとつは、今避けて通ることのできない市町村合併の問題であり、町民の皆さんの生活安定と幸せのために、誤りのない方向を出す責任があります。

現在のまちづくり計画は17年までですから、その基本計画・実施計画をしっかりと実行していきたいと思えます。

18年からは、また新しい計画を策定することになります。既にそれに向けて職員体制をとっている中で、今後の方角を明らかにしていきたいと思っております。

町長の座右の銘「初心忘れるべからず」の初心の意味を教えてください

昭和23年に町職員になって、町長を含めて52年間にわたり行政に携わってきました。

先輩の職員から「初心の気持ちを大事にすること。町職員は初志貫徹の気持ちで仕事に取り組まなければならない」と教えられました。

町長に最初に立候補したときも、町政の発展、町民の生活の安定のために、多くの

町民の方々に公約をしたので、そのことをしっかりと忘れないでやっていこうという意味なんです。

多忙な毎日を送られていますが、時間があるときなどの趣味などは

今やっているのは、月に一回の囲碁。ヘボ碁ですが。時間があるときには、体力づくりにパークゴルフをやっています。また、冬には、板ガルトを楽しんでいます。

最後に4期目にあたっての

決意をお願いします

「公正、公平を基本に、対話と町民参加の開かれた町政」を行政姿勢とし、「初心忘れるべからず」を座右の銘として、力強く、いきいきと輝く厚真町の建設に誠心誠意頑張つてまいります。

ケアセンターで体力測定をする町長

